

中東問題について
一の橋政策研究会資料

平成 29 年 4 月 13 日
大野元裕

1. 中東から見た日本

- (1) 中東への偏見から自由になろう
貧困、テロ、猛暑、狂信的宗教が中東ではない
同じ価値観を共有する部分と、異なる価値観の部分が混在

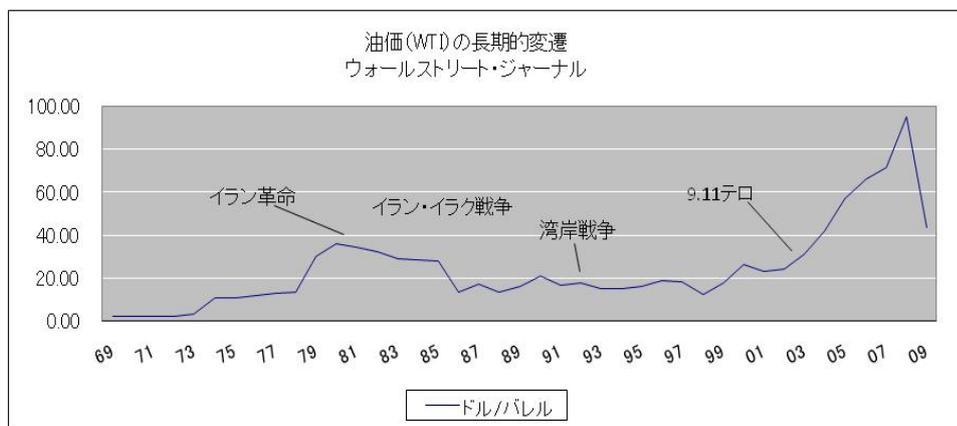


- (2) 日本への憧憬
日本人への誤解
おしんを通じたイラン人の感覚
平和を希求する強い気持ち
失われつつある対日イメージ



2. 混乱とテロの中東

- (1) 石油価格と中東の不安定



(2) 鬱積した不満

チュニジアから拡大したアラブの春と石油価格の低迷

国名	人口(百万人)	14才以下の人口比	GDP(\$b)	GDP/人(\$)	石油生産量(万b/d)	失業率	貧困率	インフレ率	09年インフレ率との比較	ネット使用者(百万人)	インターネット使用率	元首の在位年数	軍事費/GDP(%)	治安部隊・警察(人)
アラブ首長国連邦	5.0	20.4	199.8	40,200	279.8	2.4	19.5	2.2	0.6	3.5	70.28	7	3.1	-
アルジェリア	41.3	25.4	254.7	7,400	212.5	9.9	23	5	-0.7	4.7	11.38	12	3.3	187,200
イエメン	23.5	43.9	61.9	2,600	28.8	35	45.2	12.2	6.8	2.3	9.79	33	6.6	71,000
イラク	29.7	38.8	117.7	3,600	239.9	15.3	25	4.2	-2.6	0.33	1.11	5	8.6	386,312
イラン	76.9	21.7	863.5	11,200	417.0	14.6	18	11.8	-1.8	8.1	10.53	6	2.5	60,000
エジプト	80.5	33	500.9	6,200	68.0	9.7	20	12.8	0.9	20.1	24.97	30	3.4	397,000
オマーン	3.0	42.7	76.5	25,800	81.6	15	-	4	0.5	1.47	49.66	41	11.4	4,400
カタール	0.8	21.8	122.2	145,300	121.0	0.5	-	1.1	6	0.57	67.86	16	10	-
クウェート	2.8	26.4	144.3	51,700	249.4	2.2	-	3.8	-0.2	1.1	39.43	5	5.3	7,100
サウジアラビア	25.7	38	622.5	24,200	976.4	10.8	-	5.7	0.6	9.7	37.74	6	10	15,500
シリア	22.2	36.4	106.4	4,800	40.0	8.3	11.9	5.9	3.3	4.5	20.27	11	5.9	108,000
スーダン	43.9	40.7	98.8	2,200	48.7	18.7	40	11.8	0.6	4.2	9.57	21	3	17,500
チュニジア	10.6	22.7	100.3	9,500	9.1	14	3.8	4.5	1	3.5	33.05	24	1.4	12,000
トルコ	77.8	27.2	958.3	12,300	5.3	12.4	17.1	8.7	2.4	27.2	34.96	4	5.3	100,000
バハレーン	0.7	25.9	29.8	40,400	48.6	15	-	3.3	-0.9	0.42	57.53	12	4.5	11,260
モロッコ	31.6	28.7	153.8	4,900	0.4	9.8	15	2.5	1.5	13.2	41.77	12	5	50,000
ヨルダン	6.4	36	33.8	5,300	0.0	13.4	14.2	4.4	5.1	1.6	25.00	12	8.6	10,000
リビア	6.5	33	89.0	13,800	179.0	30	-	3	0.6	0.35	5.42	42	3.9	-
レバノン	4.1	25.8	58.7	14,200	0.0	-	28	3.7	2.5	1	24.21	0	3.1	20,000
日本	126.8	13.5	4338.0	34,200	13.2	5.2	-	-0.9	0.5	99.1	78.15	1	0.8	-

CIAカントリーレポート2010より大野元裕作成

(3) 混乱に乗じたテロ勢力の拡大

イスラーム国のケース

イラク西部のザルカーウィ・グループを源流とし、シリア内戦で復活

シーア派政権のイラクにおいて解放軍として認識されて拡大

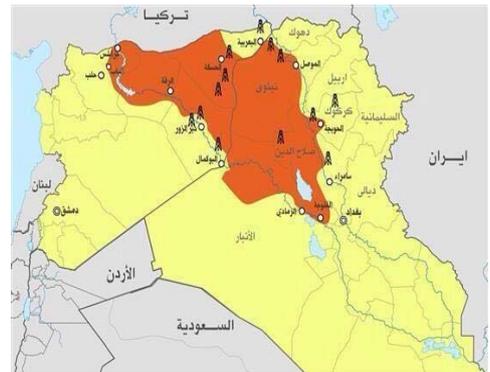
PR 力、指揮命令系統

⇒ 残虐性や資源の枯渇、隣国の対応の変化等で拡大停止、テロ活動へ

6月30日のイスラーム国宣言



ISILが当初めざした領域



3. 米国のシリア空爆の意味と不透明感、そしてトランプ政権